

【(3) 言葉遣いや態度】

- ⑥「児童生徒の発言に対して肯定的に受け止めたり褒めたりしている」

【(6) 児童生徒の反応に対する対応】

- ③「ノートやワークシート等を確認して児童生徒に励ましの言葉を掛けている」

【(10) 授業の評価・まとめ】

- ⑤「児童生徒の頑張りを賞賛している」

《つまずきの背景》

Ｌ セルフモニタリングの困難さ、P 自尊感情の低下

《解説》

子どもの学習意欲を向上させる手段の一つに賞賛があります。学習活動の結果やその過程での努力を賞賛することで、自ら課題に取り組もうとする気持ちが高まります。その際「何がどのようによいか」ということを伝え続けることにより、子どもに適切な自己評価をする力が身に付いていきます。

学級の中には、自分の意見をうまくまとめられなかったり、間違えることを恐れたり、恥ずかしがったりして授業中になかなか発言できない子どもがいる場合があります。ノートやワークシートにコメントを書くことで、子どもに教師の励ましが伝わり自分の意見や考えが認められているという自信を持つことができます。また、子どもがノートやワークシートに自分の意見を記入しておくことで、それを読み上げて発表することもできます。

子どもの性格に応じて教師がみんなの前で褒めたり、さりげなく表情やサイン等で褒めたりするなど、褒め方を工夫することで、子どもが自信を持つことにつながります。

【工夫点】

- ・ワークシートにより記述があれば学級全体に紹介する。(小)
- ・ワークシートを用いて、一人一人の理解度を把握する。(小 工夫例 22)
- ・発表カードを使って一日の評価をする。(小 工夫例 23)
- ・個性的・多面的な発想を受け止め、認めるようにする。(小中高)

◆工夫例 22 「ワークシートを用いて、一人一人の理解度を把握する」



《国語 (小学校)》

ワークシートに、肯定的なコメントが記入されることで、子どもは自分の考えが認められていることを確認し、自信を持って授業に参加したり、意見を発表したりしやすくなります。

◆工夫例 23 「発表カードを使って一日の評価をする」

発表カード 名前 ()

「手を挙げた回数」と「発表した回数」をぬろう。

〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

《小学校》

発表した(手を挙げた)回数や頑張った回数分、色を塗り、終わりの会に賞賛をします。その際、授業中に直接褒めることができなかった子どもに、言葉を掛けるようにします。